

東京都
慢性期医療
協会 報告

都慢協レポート

[発行所]
一般社団法人
東京都慢性期医療協会
〒193-0942 東京都八王子市
桐田町583-15 永生病院内
Tel : 042 (673) 5002
Fax : 042 (673) 5003

[発行人] 進藤 晃

第31回 東京都慢性期医療学会 開催

日程:2026年1月31日(土)9:45~16:00 場所:東医健保会館
学会幹事病院:信愛病院 学会長:信愛病院 理事長 越永守道



年に1回実施される当会の大きなイベントである本学会は、まず、学会長で信愛病院の理事長である越永守道先生より開会の挨拶があった。「発表される方は現場で培った知見を多くの方に披露していただき、聞く側の



皆さんもぜひ学び取ってほしい」と語った。次に当協会の会長である大久野病院理事長の進藤晃先生より挨拶があった。「病院経営は依然として厳しい状況が続いているものの、診療報酬改定で前向きな兆しもある。今後も質の高い慢性期医療を皆様とともにつくっていきたい」と語った。司会は城山病院の小山氏が務めた。



デミング賞委員会『2025年度日経品質管理文献賞』 進藤晃先生 受賞講演

演者:進藤 晃 会長 座長:高野 研一郎 副会長



会長の進藤晃先生の著書『慢性期医療の品質マネジメント』の受賞を記念して、本書についての講演をしていただいた。病院において日常管理や管理指標を作る際、その数値を達成すること自体が目的になってしまう。例えば『認知症ケアの充実』を目標に掲げ、『勉強会を年10回開催する』という指標を作ると、10回開催することだけが目標になり、肝心のケアの内容が置き去りになることがある。なぜ10回やるのか、なぜ認知症ケアを充実させる必要があるのかを深く考えた上で、管理指標を設計する必

要がある。患者満足度を上げるためにはムダを排除して時間を作り、そのために業務を『可視化』し、適切に管理していくことが重要だという。こうした品質管理(クオリティマネジメント)の具体的な手順—事務局の設置、業務の標準化、内部監査、問題解決、そして法人が目指すべき方向を示す方針管理などについて、まとめたのが『慢性期医療の品質マネジメント』である。1章から8章まで、ときには難しい内容も含まれていますが、自院での取り組みをベースに詳しく解説しているので、ぜひ参考にしてほしいとのことだった。



パネルディスカッション

慢性期医療の課題・展望を語る

座長:越永守道(信愛病院 理事長)

パネリスト 進藤 晃(大久野病院 理事長)
竹川 勝治(愛和病院 理事長)
高野 研一郎(高野病院 院長)
鳥巢 良一(小平中央リハビリテーション病院 院長)
田中 裕之(陵北病院 院長)
玉城 成雄(城西病院 理事長)(順不同)



今回、学会長である信愛病院理事長の越永先生の発案による初めての企画として、東京都における慢性期医療の現状と将来像をテーマに、当会理事を務める東京都各所の病院の理事長や院長がパネリストとして登壇し、パネルディスカッションが行われた。冒頭では病院経

営と機能の変化が議論され、「今後は多機能な病院、いわば『地域の生活支援センター』のような存在が必要だ」との指摘があった。医療・介護・生活支援をシームレスに統合する体制づくりが求められる一方、東京の高い土地代を踏まえた診療報酬上の格差是正も課題である。また、この10~20年で入院患者の重症度は高まり、慢性期病院が急性期の強固な受け皿となっている実態や、サ高住における訪問看護・リハの機能拡大を背景に「病院は『治す場所』としての強みを明確にすべきだ」との意見



も示された。各地域の高齢化の進展についても共有され、とりわけ高齢化率が30%を超える多摩エリアを中心とした地域では在宅医療への移行が急務であり、慢性期病院の役割は重要でありながら変化を求められているという指摘もあった。「看取り難民」を減らすには、入院時から家族背景を把握し、「ACPを地域全体で進めるべきだ」との提案がなされた。老老介護や独居の増加により家族の介護力が限界を迎える中、「いつでも病院や施設に戻ってきてよいという姿勢が家族の罪悪感を和らげる」との発言もあった。終末期医療の在り方については、「何でも延命する治療



には賛成できない」との問題提起があった。入院基本料の再編では、各機能が本来の役割を果たす報酬体系の必要性が強調され、「生活の再構築のためのリハビリ」だけでなく「状態を維持するために施されるリハビリは、非常に高度で医療において不可欠」との認識が共有された。2040年を見据え、在宅から直接慢性期病院へ入院する流れの増加や、病院の「地域のハブ」機能の強化が展望として示された。一方で、AIやDXの進展、施設老朽化への対応、働き方改革による人材育成への影響など課題も多い。慢性期医療を持続可能な形で支えるための方向性が、多角的に示された討論であった。

ランチョンセミナー 水から始める『健康経営』の第一歩

演者：株式会社日本トリム 東京支社 営業部課長 健康経営アドバイザー 松下 智英 様

人の体の60%以上は水分で構成されており、「毎日飲む水を変えることこそ健康管理の基本である」という。日本トリムの電解水素水整水器は、厚生労働省により胃腸症状の改善（便秘、下痢、胃部不快感など）への効果が認められた管理医療機器であり、1日500ml以上の継続飲用で効果が期待できる。免疫細胞の約7割が集まる腸内環境を整えることが、感染症対策を含む全身の健康維持につながる。東北大学との共同研究では、水素水を用いた

透析により合併症リスクを41%抑制したとの報告があり、聖路加国際病院や徳洲会グループなどで導入が進んでいるという。活性酸素は老化や疾患の一因とされ、ストレスや飲酒、喫煙、睡眠不足などが酸化を促進する要因となる。日常的に口にする水を見直すことが、個人の健康増進のみならず、企業における福利厚生や健康経営の第一歩になり得るとの提起で講演は締めくくられた。



賛助会員展示ブース

今回も賛助会員展示ブースを会場内に設置いたしました。



フランスベッド株式会社
離床センサー内蔵ベッドM-2の体験、眠り解析センサーなどの展示



株式会社シーエイチシー
共同購買、人材紹介、給食改革により病院経営の課題を一括解決する提案



東洋羽毛首都圏販売株式会社
看護師や医療職の良質な睡眠をかなえる職人による手作りの羽毛布団の販売



株式会社日本トリム
電解水素水整水器を使った透析での実績や水道水と比べて抗酸化作用の紹介

※東京都慢性期医療学会におけるランチョンセミナー・展示ブース・配布物等に関するお問い合わせは 事務局 尾藤まで tel:042-673-5002



32演題が発表され、優秀演題を表彰

午後からは二つの会場に別れて演題発表が行われた。嚥下障害のある患者への食事介入、移乗サポートロボットの導入、単身高齢者を支える在宅支援、ポリファーマシー、業務の偏りの改善、新卒教育、認知症ケアなど多彩なテーマで、現場に戻って還元できる身近な内容が多く発表された。最後に優秀な演題に賞が贈られた。閉会にあたって、学会長の越永先生から「今回の発表のテーマはどれ一つとして同じものはなく、どれも現場のリアルな課題感や成果を垣間見ることができ、大変勉強になる素晴らしい内容だった。また初めての試みとしてパネルディスカッションを行った。日頃なかなか話すことがない理事長や院長だが、会場にお越しいただいた皆

様にとっても、病院を束ねるトップの立場で、何を考えているか、どんな課題を感じているかなどを率直に語る姿を見て、身近に感じることができたのではないかと。また今回取り上げたテーマについても、活発な意見交換があり、具体的に考える契機になったのではないかと。少しでも得るものがあれば幸いです」と述べた。進藤会長からも「学会は会員同士の情報交換や交流の場として貴重な機会となっていることを改めて感じた。今後とも、多くの方に興味をもって、活用していただける場になることを願う」との言葉があった。



優秀演題 第一会場

医療法人社団永生会 みなみ野病院
理学療法士 荒尾 雅文
演題：当院回復期リハビリテーション病棟における退院時 FIM 予測モデルを活用した支援設計と取り組み



第二会場

社会福祉法人信愛報恩会 信愛の園
事務 宮田 晋浩
演題：見守りシステム導入の効果を考える～職員のアナケート調査より～



2025年度 4部会 合同研修会

～相手に対しても、自分に対しても、
自己肯定感を安定させる～

言葉の力 ペットトーク

日時：2026年2月12日(木) 14:00～16:00 場所：東京たま未来メッセ

講師：日本ペットトーク普及協会認定講師 小柳今日子氏



ペットトークのペップとは英語で「元気・やる気・活気」という意味で、言葉に乗せて心を届けるのが「ペットトーク」である。2023年WBCで大谷翔平選手が言った「憧れるのをやめましょう」という

言葉や、2022年サッカーW杯ドイツ戦で吉田麻也選手が言った「ドイツはまさか日本に負けると思っていない、そこに隙がある」という言葉、これらのペットトークが日本に勝利をもたらしたように、ペットトークには聞く人のポテンシャルを引き出す力があり、行動が変わり、未来が変わる可能性がある。

反対にネガティブな言葉で人のやる気を奪う説教や命令は「プッペトーク」ということがある。ミスに対して「ドンマイ」ではなく「ナイストライ」というと、ペップになる。またどんなことにも「ありがとう」という感謝の気持ちを持つとペップになる。逆に「できて当たり前」「こうあるべき」という気持ちだと「プッペ」になりやすい。ペップを声に出すことを心がけると、脳が記憶して、ペットトークが定着しやすい。相手に

対しても自分に対してもペットトークを口に出すよう心がけると未来が変わってくる。ペットトークのコツは大きく4つある。今回は参加者同士の実践を通してこのコツを身につけていってほしい。



コツ1 「そうなんだね」と受け止める

まずひとつ目は相手の状況や感情を汲み取って受け止める「受容」である。「やりたくない」「自信がない」「私なんてダメ」「もうやめたい」などのネガティブな言葉や感情に対して、見て見ぬふりをしたり、「そんなことない」と否定したり、励ましたくなる。しかしそうではなく、まずは「そうなんだね」と受容する。すると相手は「実はこういうことがあって」と理由や気持ちを話出さかもしれない。その場で話が広がらなくても「受け止めてもらえた」「否定されなかった」という経験が安心になる。安心すると、人は前に進みやすくなり、根本的な解決につながりやすくなる。ポジティブとは



ネガティブを排除することではなく、ネガティブを包み込んで受け止めることから始まる。自分に対しても、「今日は大変だったね」「ついイライラしたね」「私ダメだって思っちゃったね」と自分のネガティブを受け止めるとよい。

コツ2 ポジティブに言い換える

人間は1日3万回以上思考し、その8割はネガティブだという研究もあるくらい、人は本来ネガティブなのだが、ネガティブ思考は疲れてしまう。そこで2つめのコツは捉え方を変えるとということになる。たとえば「人手が足りない」のは「連携を強めるチャンス」と変換できる。「ミスしないか不安」なのは「それだけ誠実なんだ」と捉える。「疲れた」は「よく頑張った」、「忙しい」は「充実している」と言い換えられる。すぐ怒る人は真剣な人、情熱的な人と捉える。もうひとつ、人はパズルに足りないピースがあると、足りない部分を埋めようとする。これは脳の習性で安全で不安のない状態になろうとするため。同様に、人に対して足りない部分ばかり目につく。そこで発想を変えて、すでにある部分の良さを見るようにするとポジティブになれる。埋まってないピースがあるからこそ、助け合えと考え、自分についても、家族や職場の同僚についても、埋まってないピースではなく、埋まっているピースは何か、を考えるとよい。完璧をめざさず、「助けて」と言えることが成熟といえる。人はみな違うのだから、誰かと比べる「並行比較」ではなく、昨日の自分、明日の自分と自分自身を尺度に比較する「垂直比較」を心がけるとよい。

コツ3 希望する未来をイメージする

人は安心できる場にいることではじめて、ポジティブになれる。禁止や否定ではなく、「してほしい」「こうなってほしい」ことを言ったほうがよい。脳は、聞いた言葉を即座にイメージする。肯定と否定を区別できないので「してほしい未来」をイメージして変換することが3つめのコツ。「走らないで」は「ゆっくり歩こう」、「慌てない」は「落ち着いて」、「暗い顔しない」は「まずは口角あげようか」など、相手をよく観察し、気持ちを想像ながら、届く言葉をかけると、ペップトークになっていく。

コツ4 相手の心を動かす言葉を選ぶ

ペップトーク4つめのコツは「相手の心を動かす言葉を選ぶ」こと。話す順番は1) 受容、事実の受け入れ、2) 承認、とらえ方変換、3) 行動、してほしい変換としたうえで、最後に4) 激励、背中の一押し、とすると届きやすい。最後のひと押しは相手の価値観、性格タイプによって届く言葉が違うので、見極めて使い分けるとより届きやすくなる。たとえば試合の直前に「君に任せた!」、「バーンと楽しもう!」、「今までの練習の成果を信じよう」、「大丈夫、仲間がついている」と4種類あってどれが響くか考えると、自分のタイプ、相手のタイプが見える。モチベーションは自分の内側から湧き出てくることによってこそ持続性がある。4つのステップをひとつずつクリアしていき、ペップトークがうまくできるようになると、安心して自分らしく内面から出てくるやる気をもとに日々過ごせるようになる。そんなイメージを持ちながら活用してほしいとのことだった。



2025年度 第2回理事会

日程:2026年1月31日(土)11:35~12:15 場所:東医健保会館

1月31日、第2回理事会が開催され、学会の内容確認などが行われ、次年度予算の試算表などが議題となった。また、今年度、理事に就任した多摩川病院の副院長、八戸敏史先生からの挨拶があった。次年度も引き続き各部会の研修会や学会を行い、会員同士のつながりを深めていくことなどが話し合われた。



一般社団法人
東京都慢性期医療協会 事務局

〒193-0942 東京都八王子市桐田町583-15
TEL. 042-673-5002 FAX. 042-673-5003

都慢協レポートのバックナンバーはホームページよりご覧いただけます。PC・スマートフォン・タブレット → 用QRコードです。http://tmik.or.jp

